



令和 7 年度上半期 ミニディスクロージャー誌

(令和 7 年4月1日～9月 30 日)



田植えの体験(香南市で)

- 設立:平成 31 年1月1日
 - 本所所在地:高知市五台山 5015 番地 1
 - 事業活動エリア:県内全域
 - 組合員数:正組合員 35,960 人、准組合員 42,826 人
 - 役職員数:役員 41 人、職員 1,716 人
 - 子会社・関連会社数:子会社9社、関連法人等 5 社
- ※令和 7 年9月末現在

JA綱領 －わたしたちJAのめざすもの－

わたしたちJAの組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。

そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

JA高知県経営理念

<経営理念>

高知県の豊かな自然の恵みを生かして、組合員・地域の皆様と共により良い「未来」をつくれます。

<経営方針>

- ・地域農業を振興し、農業者の所得増大を実現します。
- ・人と人とのつながりを大切にし、心豊かな地域社会を創造します。
- ・新たな改革に挑戦し続け、さらなる協同の成果を実現します。



ごあいさつ



高知県農業協同組合

代表理事組合長 島田 信行

組合員ならびに利用者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

令和7年度上期は、ウクライナ情勢の不安定化や円安の影響によるエネルギー資源・肥料・飼料・燃料などの資材価格の高騰が続き、食と農を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。また、「令和の米騒動」に象徴される米価の高騰は、国産農畜産物の安定確保にも影響を及ぼしました。

こうした中、食料安全保障の安定供給と農業者の持続可能な価格形成の実現は、地域の農業とくらしを守る農業協同組合の使命であると強く認識しております。消費者・実需者の皆様には農業へのご理解を、国には将来にわたり安心して営農が継続できる適切な価格形成の実現を、引き続き求めてまいります。

当組合では、「農業基盤の確立」「経営基盤の強化」「組織・事業基盤の構築」を柱とする3か年計画（令和7年度～令和9年度）に基づき、各種施策の実践に取り組んでおります。

令和7年度上半期の事業総利益は、事業全体で66億49百万円（前年度同期比102.70%）と、前年度実績を上回る結果となりました。

事業ごとの収支状況は以下のとおりです。

- 信用事業総利益：18億95百万円（同94.66%）
- 共済事業総利益：15億12百万円（同99.51%）
- 購買事業総利益：13億78百万円（同96.19%）
- 販売事業総利益：13億32百万円（同105.67%）
- 加工事業総利益：4億円（同228.22%）

特に令和7園芸年度の販売総額は648億円となり、前園芸年度を22億円上回る成果となりました。これもひとえに組合員の皆様のご理解とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

また、今年4月にはJAバンク健全化要綱に基づくレベル格付指定が解除されましたが、引き続き不祥事再発防止策の徹底と、ガバナンス体制・コンプライアンス遵守・内部監査機能・リスク管理体制・内部けん制体制の強化に努め、組織基盤の健全化に注力してまいります。

今後も「強いJA高知県」を目指し、地域に根差した事業運営に全力で取り組んでまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

本誌では、令和7年4月から9月までの取組内容や財務状況をまとめております。ご一読いただき、当組合の活動へのご理解を深めていただければ幸いです。

令和7年10月吉日